

2015年度 第12回 さがの映像祭

手話は言語～デフムービーって何だろう～

プログラム

1月23日(土)

ホール 司会●青木 毅あおき たかし(目で聴くテレビ手話キャスター)

10:00 開会 あいさつ
映像作品コンクール応募作品上映 A
13:00 映画「長州ファイブ」上映
15:30 ワークショップ②
「映像作品コンクール
つくる人×見る人」
17:00 終了

ロビー

応募作品上映

「会場特別賞」投票

会議室

11:00～12:30

ワークショップ①

集まれ映像クリエイター
～はじめの一步～

1月24日(日)

ホール 司会●青木 毅(目で聴くテレビ手話キャスター)

10:00 映像作品コンクール応募作品上映 B
13:15 映画「奇跡のひと マリーとマルグリット」上映
15:15 審査発表・表彰式・審査員による講評
16:15 閉会

ロビー

応募作品上映

「会場特別賞」投票(24日 13:15まで)

過去映像祭の応募作品特別上映

会議室

11:00～12:30

ワークショップ③

字幕

～鼓の音は「ポン」か「カン」か?～

会場 龍谷大学 アバンティ響都ホール

主催 龍谷大学社会科学研究所労働統合・共生経営研究センター
第12回さがの映像祭 実行委員会
共催 映像教育研究会
協賛 社会福祉法人全国手話研修センター
認定NPO法人CS 障害者放送統一機構
特別協賛 公益財団法人京遊連社会福祉基金
後援 一般財団法人全日本ろうあ連盟

■お願い■

ホール内飲食禁止
(ロビーでは飲み物可)

ご協力を
お願いします

ようこそ第12回さがの映像祭へ！

ごあいさつ

第12回さがの映像祭実行委員会

委員長 高田英一

第12回さがの映像祭へようこそお越しいただきました。

この映像祭は、全国の聴覚障害者、聴覚障害者を含むグループ、情報提供施設などが制作した映像発表を通じて、聴覚障害者の映像文化の発展を図る場です。

手話の研究、普及等の事業を実施する社会福祉法人全国手話研修センターは、手話や字幕付き番組を制作・放映している認定NPO法人CS障害者放送統一機構、映像関係者と協力して開催してきました。

映像祭を通して手話や聴覚障害者に関わる映像表現の質を高め、参加者のみなさまとともに「聴覚障害者にとっての映像文化とは何か」を考えていきます。映像を通して制作者のメッセージを感じ取っていただけましたら幸いです。そして、さらに多くの方に「デフムービー」に親しんでいただくことで、聴覚障害者だけでなく広く健聴の方々との交流と相互理解をさらに広げることがめざしています。

映像祭では、最前線で活躍されている国内外のろう映像作家を紹介し、日本のろう映画の歴史を振り返るなど幅広い映像活動の発信に取り組んでいます。さらに全国のろう学校、特別支援学校などにも映像作品コンクールへの参加を促し、後継者の発掘もめざします。

最後に本映像祭開催にあたり、多大なるご理解、ご支援をいただきました龍谷大学、映像教育研究会、公益財団法人京遊連社会福祉基金のみなさまに心からお礼を申し上げます。

映像作品コンクール、映画上映、ワークショップ。聴覚障害の有無に関係なく楽しめる企画を立てておりますので、どうぞお楽しみください！

第12回映像作品コンクール◆審査員の紹介（敬称略、五十音順）

池田 和生（元KBS 京都放送ディレクター）

井上 泰治（映画監督、主な作品に「水戸黄門」「球形の荒野」「戦国の勝者」ほか）

大館 信広（デフムービーエンターテインメントプロディア代表および映画監督）

金山 智子（岐阜県立情報科学芸術大学院大学教授、同大学産業文化研究センター長）

高田 英一（認定NPO法人CS 障害者放送統一機構理事長）

津田 正夫（元立命館大学教授、元NHK チーフプロデューサー）

早瀬 憲太郎（映画「ゆずり葉」、「生命のことづけ」監督）

横地 由起子（京都シネマ支配人、映像教育研究会事務局長）

ロビー企画のご紹介

- ◆全応募作品上映コーナー
- ◆「会場特別賞」投票箱
- ◆展示コーナー

会議室のご案内

- ◆ワークショップ①③会場

おねがい

- ・ホール内は飲食禁止です
- ・ロビーでの飲み物はOKです
- ・再入場時にはチケットの半券を受付で見せてください。

2016

1/23
[土]

ホール 10:00~12:00

映像作品コンクール応募作品上映 Aグループ

★作品の詳細(紹介)は別紙のリストをごらんください。

<ホール>

- 10:20 ふれる/手話舞台「箱！」(京都府)
- 10:30 気づき~みんな何かできる~/NPO DAIWA-ya (大阪府)
- 11:10 チャップリンからの伝言/松谷琢也(奈良県)
- 11:25 八人の魂/静岡聴覚特別支援学校
- 11:45 それいけくいしんぼ 兼六園・広坂界限/石川県聴覚障害者センター

※上映時間は、当日の状況により前後する場合があります。

ホール 13:00~15:15

映画「長州ファイブ」上映

上映前におおだてのびひろ監督より、この映画の紹介をしていただきます。



©グローバル・ピクチャーズ

ロビーでも
上映いたします。
★上映プログラムは
ロビー上映ブースで
ご確認ください。

ワークショップ① 会議室 11:00~12:30 ※定員(25名)に余裕があれば、
ホール入口でお申込みいただけます。

「集まれ映像クリエイター~はじめの一步~」

(入場受付 10:45~)

青山真一氏(あおやましんいち 京都市聴覚言語障害センター)

映画・映像作品は従来のような大スクリーンやテレビで楽しむ方法と共に、スマートフォンやタブレットにより気軽に楽しむ方法が広がってきました。スマートフォンやタブレットには動画撮影機能があり、これにより誰もが簡単にビデオ撮影をすることが可能となりました。誰もが映像作品を制作できる時代がやってきました。

「撮れる or 撮る」をテーマに、映像が持つ力、制作の流れ、撮影体験をしていただきます。(講義のあと、撮影体験となります。)

ワークショップ② ホール 15:30~17:00

「映像作品コンクール つくる人×見る人」

アドバイザー:今村彩子監督(いまむらあやこ 映像作家)

横地由起子氏(よこちゆきこ 京都シネマ支配人)

出演者:松谷琢也氏(まつたにたくや 「チャップリンからの伝言」制作者)

伊藤徹也氏(いとうてつや 「記憶のない日と黒い人」制作者)

谷進一氏(たにしんいち 手話舞台「箱!」のメンバー「ふれる」制作者)



今村彩子監督

応募作品制作について、制作者の想いや、応募作品の魅力などを熱く語ります。

2016

1/24

[日]

ホール 10:00~12:00

映像作品コンクール応募作品上映 **Bグループ**

★作品の詳細(紹介)は別紙のリストをごらんください。

<ホール>

10:05 デフ版・世界ふしぎ発見!

／ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業第33期派遣研修生

10:25 記憶のない日と黒い人／伊藤徹也(大阪府)

10:50 ゆいまーる寺子屋 聴覚障害児のための居場所／小渡佑希子(沖縄県)

11:10 がんばれ!日本!がんばれ!大阪!~第22回夏季デフリンピック~

／大阪ろうあ会館

11:45 吃音と共に／京都市聴覚言語障害センター

ロビーでも

上映いたします。

★上映プログラムは
ロビー上映ブースで
ご確認ください。

※上映時間は、当日の状況により前後する場合があります。

ホール 13:15~15:00

映画「奇跡のひと マリーとマルグリット」上映

特別ゲスト ラグリュ・ジェームズ氏 (James Lagrue)

フランスのろう映像クリエイターです。フランスにおける手話に関する映画制作の状況と、「奇跡のひと」の主演アリアーナ・リヴォアールさんからのメッセージをご紹介します! コーディネーター: おおだてのぶひろ監督



©2014-Escazal Films/France
3 Cinema-Rhone-Alpes Cinema

ホール 15:15~16:15

映像作品コンクール審査発表、表彰式、講評

大賞、優秀賞、奨励賞、ふかがわかつぞう むつみ深川勝三・睦賞、会場特別賞を発表します!



深川勝三・睦賞

ワークショップ③ 会議室 11:00~12:30

※定員(25名)に余裕があれば、

ホール入口でお申込みいただけます。

(入場受付 10:45~)

「字幕つつみ~鼓の音は「ポン」か「カン」か?~」

柳喜代子氏(やなぎきよこ 「目で聴くテレビ」ディレクター)

一般のテレビ映像(現在の映画も)は、「映像(動画)と音(音声)」で成り立っています。特にテレビの場合は、「無音」が続くと「事故」ですので、音であふれています。

聞こえない人に聞こえない「音」が伝わる「字幕」とは...?人間の話だけでなく、「字」に変えづらい「音」について考えてみませんか。作る人だけでなく、見る人...ぼーっと見ているだけの人も、一言ある人(意見や主張のある人)もご参加お待ちしております。

■アンケートにご協力ください■

さかの映像祭はいかがでしたか?より充実した映像祭を目指して、今後の参考にさせていただきます。後日にFAXでのご回答もお待ちしております。

第12回映像作品コンクール 応募作品リスト

ホール 1月23日(土)・24日(日) 10:00～12:00 (23日Aグループ・24日Bグループ上映)

ロビー 1月23日(土)・24日(日)

A

1 「ふれる」…手話舞台「箱！」 (6分17秒/2015年)



■編集ソフト: Windows Live Movie Maker
■撮影機材: Sony HDR-AX2000 ■音声: あり

- 作品のテーマ 何気ない会話を盲ろう者に伝え言葉を編んでいくのは、周りの人の手です。だから多くの人に「触手話」について知ってほしいのです。
- 作品の内容 「コスモス園」を訪れた盲ろう者灰田さんと、映画「紡ぐ」で共演した勝山さんが、若いころの思い出や、今の生活のことなど何気ない会話で時の経つのも忘れて話し込みます。
- 監督プロフィール 勝山靖子: 2013年「あなたの声が見える場所」に続き2作目です。今回は監督とストーリーテラーを兼ねています。
- コメント 手話舞台「箱！」のメンバーたちの体験を基にしたドラマ「紡ぐ～TUMUGU～」の主演の盲ろう者灰田さんとの触手話での会話を通してコミュニケーションの大切さ、何気ない会話が人生を豊かにすること、そして触手話に興味を持ってもらえばと製作しました。

2 「気づき～みんな何かできる～」…NPO DAIWA-ya (19分51秒/2015年)



■編集ソフト: Adobe Premiere Pro CS6
■撮影機材: Canon EOS6D 等 ■音声: あり

- 作品のテーマ ろう者と聴者が出会い、交流することで、人々の心に気づきを与え、つまらなかった日常生活を豊かに変えていく。
- 作品の内容 突然襲ってきた震災。自分が助かるだけでも大変な中、一人のろうの男性が避難所にいた。知り合いのいない場所、情報不足による不安。そこで知り合った少年と男性を取り巻く周りの変化。関わりで変わる人の心。
- 監督プロフィール 前川政明: 株式会社スタジオエム代表。撮影セミナー講師、企業技術講師。2013年提案型福祉ドラマ「守るということ」監督・撮影・編集を担当した。
- コメント 同じ町の人たちと協力して作りました。素人集団で作ったとは思えない作品に仕上がりました。実際にろう者と関わり合って作っていくうちに、私たちも気づきをたくさんもらいました。

3 「チャップリンからの伝言」…松谷琢也(奈良県) (12分16秒/2015年)



■編集ソフト: Movie Studio Platinum Ulead DVD Workshop
■音声: なし

- 作品のテーマ チャップリンとレドモンド
- 作品の内容 チャップリンにろう者の友だちがいたことやレドモンドからチャップリンに演技を教えたことを知らない人が多いため映画にしました。
- プロフィール 1990年「毎日中学生新聞」4コママンガデビュー。現在は web てんてるコミックに2ページマンガに「髭デフ」を連載中。単行本3巻以下続刊。
- コメント 私はチャップリンが好きなのでパントマイムで有名な芳本さんと映画をつくりました。

4 「八人の魂」…静岡聴覚特別支援学校 (5分54秒/2015年)



■撮影機材: Panasonic HC-V620M
■音声: あり

- 作品のテーマ ショートコント&手話漫談 3本立て
- 作品の内容 静岡聴覚特別支援学校の生徒たちが自立活動の授業で手話漫談に挑戦しました。①起きて！学校へ行きなさい！（息子の正体は…）②ペットショップ（オウムの値段が高い理由）③学問の神様の3本です。
- 監督プロフィール 岩崎里夏: 映像作品の制作は初めてですが、手話表現を工夫している生徒を見やすく撮りました。
- コメント 静岡ろう中学部では、「8人の魂」をテーマに、いろいろな活動にチャレンジしています。どうぞご覧ください。

5 「それいけくいしんぼ 兼六園・広坂界限」…石川県聴覚障害者センター (11分10秒/2015年)



■編集ソフト: CANOPUS EDIUS ver5.12
■撮影機材: Panasonic AG-HPX305 ■音声: あり

- 作品のテーマ 「食」をテーマに地域の魅力を紹介する。
- 作品の内容 現代美術と伝統の調和する街・金沢市広坂、兼六園界限。この街の風情から生まれた甘味処をお届けします。大切な誰かと訪れたいくなるお店ですよ。
- コメント この映像をご覧頂き、「金沢へ行ってみたい！」という気持ちになって頂けたら幸いです。

6 「デフ版・世界ふしぎ発見！」…ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業
第33期派遣研修生 (10分37秒/2014年)



■編集ソフト: Windows Movie Maker 2012
■撮影機材: Apple iPad ■音声: あり

- 作品のテーマ イギリスにおける障害者サービスについて
- 作品の内容 イギリスのオックスフォードやロンドンにて研究調査をすることとなった、(公財)ダスキン障害者海外研修派遣事業33期研修生。行く所では、日本では殆ど見られない障害者サービスも。そんな発見を、かの有名な番組風に制作してみました!
- コメント イギリスの由緒ある情景や、ミステリーハンター、キャストたちの愉快的な解説を楽しんでご覧頂けますと幸いです!!

7 「記憶のない日と黒い人」…伊藤徹也(大阪府) (10分35秒/2015年)



■編集ソフト: Adobe After Effects
■撮影機材: Sony Cyber-shot DSC-HX9V ■音声: なし

- 作品のテーマ 言葉にしにくいのですが、記憶と、幸せと、生きていくということ、の関係のようなもの。
- 作品の内容 見知らぬ場所で目覚めた主人公には記憶がなかった。記憶を求めてさまよう主人公の前に、黒い影のような人が現れ…。
- プロフィール 趣味で短編の映像作品、四コママンガの製作等をしています。ホームページで囲碁のマンガも描いています (<http://www.asahi-net.or.jp/~hk6t-itu/igo>)。興味のある方、よかったですら見てみてください…。
- コメント 内容に関しては、記憶というものについて考えていたのがきっかけで、撮影方法に関しては、写真を使って動きを表現できないだろうか、と考えたのがきっかけで、この作品ができました。

8 「ゆいまーる寺子屋 聴覚障害児のための居場所」…小渡佑希子(沖縄県)
(14分08秒/2015年)



■撮影機材: JVC Everio
■音声: あり

- 作品のテーマ 聴覚障害を持つ子どもたちの居場所が増えてほしいという目的
- 作品の内容 2010年6月に、那覇市内のアパートの一室で「ゆいまーる寺子屋」という学習塾が開かれています。そこは、先生の教える声や子どもたちのにぎやかな声がしません。実は、聴覚障害者のための塾です。
- プロフィール 沖縄大学2年生。両耳に難聴障害を持っています。初めてのビデオ編集をしました。

9 「がんばれ! 日本! がんばれ! 大阪! ~第22回夏季デフリンピック~」(16分55秒/2014年)
…大阪ろうあ会館(公益社団法人大阪聴力障害者協会)



■編集ソフト: Grass Valley EDIUS
■撮影機材: Panasonic AG-HPX375 等 ■音声: なし

- 作品のテーマ デフリンピック啓発と大阪の取り組み
- 作品の内容 2013年8月、第22回夏季デフリンピック競技大会(ブルガリア・ソフィア市)に大阪から8競技の選手16名が日本代表に選出されました。府庁での壮行会や、出場するまでの想いや出場の意気込みを全員、語って頂きました。
- コメント デフリンピックの認知度はまだまだ低いです。一人でも多くの方にデフリンピックを知ってもらうために、また大阪からたくさんの日本代表がいることを紹介したく、制作しました。

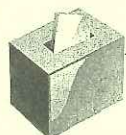
10 「吃音と共に」…京都市聴覚言語障害センター (13分7秒/2013年)



■編集ソフト: grass valley EDIUS
■撮影機材: Panasonic AVCCAM ■音声: あり

- 作品のテーマ 吃音って何でしょう? 吃音のことを知って下さい。
- 作品の内容 吃音は生死に関わる障害ではありません。ただスラスラ話せないだけ、たいしたことはないと思われがちですが、当事者には地獄の苦しみです。吃音のある青年の経験を通してスムーズに話すことができない苦しみを聞こえない人、聞こえる人にも知って頂きたい制作しました。
- 監督プロフィール 青山真一・荻野晴生: 京都市聴覚言語障害センターの番組制作チームは聴覚言語障害者へ映像でメッセージを送り続けます。
- コメント 本当の苦しみは当事者にしか分からないかも知れない… だけど、少しは分かるかも…

あなたちも
観望員!



応募全作品対象の「会場特別賞」作品を見て投票しよう!

1月24日(日)午後1:15までに、ロビー上映場所の箱に投票してください。
1月24日(日)午後3:15からの表彰式で結果を発表します!!